



広 報 か わ ね ほ ん ち ょ う

11

2026
No. 253

川根本町



こ の ま ち が も っ と も ~ っ と 好 き に な る



特集

この一杯を、未来へ

昨年の世界お茶まつりで提供した全国茶品評会上席入賞茶
浮かぶ毛茸は、春先に摘んだ新芽を丁寧に製造した証

川根本町公式LINE
友だち登録はこちらから！



▶ 広報かわねほんちょうはこちら

川根本町 広報紙 検索



この一杯を、未来へ

— 22年ぶり、2度目の快挙 —

日本一の茶を決める
第80回全国茶品評会普通煎茶4キの部で、
川根本町が2年連続となる産地賞を受賞しました。
連続受賞は平成15・16年以来、22年ぶり2度目の快挙。
産地賞受賞は通算18回目となりました。



普通煎茶4キ・10キの部、 出品者全員が上席入賞



通算18回目の産地賞受賞を喜ぶ出品者と関係者たち

▼ 第80回全国茶品評会出品茶審査会 審査結果

普通煎茶4キの部		普通煎茶10キの部	
1等2席	農林水産省農産局長賞 松島園 川崎 好和 さん	2等	川根たっちゃん農園 橋本 立生 さん
1等5席	全国茶商工業協同組合連合会理事長賞 相藤園 相藤 裕次 さん		
2等	つちや農園 土屋 和明 さん	3等	丹野園 丹野 浩之 さん
2等	相藤農園 相藤 直紀 さん		

全国の舞台で、 再び輝く川根茶

8月25日から27日まで、佐賀県嬉野市で行われた出品茶審査会には、全国の茶産地から7茶種8部門、計814点の荒茶が集結。茶業の専門家ら20人が審査しました。

町内から普通煎茶を出品した6人は、その全員が上席入賞。普通煎茶4キの部では、松島園の川崎好和さんが1等2席、相藤園の相藤裕次さんが1等5席に輝き、町は2年連続の産地賞を受賞。合併後初の連覇を果たし、川根茶の品質の高さを全国に示しました。

全国茶品評会とは

全国茶品評会は、全国から出品された荒茶の品質を競う、国内最高峰の品評会です。茶業の振興を目的に毎年開催される「全国お茶まつり」の中核行事で、茶業の専門家らが茶葉の外観、香気、水色、滋味の4項目を審査します。

産地賞は、部門ごと優秀な成績を収めた産地に贈られます。上位入賞した3点の審査得点を合計した順位で決まり、産地全体の生産水準の高さを示す賞です。

この土地だから、 生まれる「味」がある

「いいじゃないかできない
お茶がある」

そう語るのは、今年の全国茶品評会で町内最高位となる1等2席に輝いた、松島園の川崎好和さんです。川崎さんが重視するのは、昼夜の温度差と前年夏の茶園管理。茶樹は前年に育った葉に蓄えられた養分を使って、翌春の新芽を伸ばします。「自分の技術は2割くらい。あとの8割は自然条件。7月、8月にどれだけ良い母葉をつくれるかが大事なんです」。近年は夏の高温や少雨が続きますが、川崎さんの茶園では、暑さや乾燥が続く時期にも適切に水を与えられたことが、良い茶葉の生育につながったのだらうと振り返ります。

全国への挑戦は、
自分の力試し

川崎さんが全国茶品評会への出品を始めたのは28歳の頃。当時は、茶作りを競い合う生産者が大勢い

ました。「昔は、隣近所でもものすごいライバル意識があった。誰かが良い茶を作れば、自分も負けていられない。地域の品評会にも多くの茶が集まり、互いの技術を競い合っていた」と語ります。全国への出品もその延長でした。

自分の茶が全国でどの程度評価されるのか。良かった点や足りなかった点を確かめ、翌年に生かす。それを繰り返して52年挑み続けた川崎さんは、「品評会は、本来、栽培と製造の勉強のためにやるもの」と言います。大量生産型の茶が評価され始めた平成初期、手摘み中心の川根茶産地としては厳しい時代にも、川崎さんは出品を続けました。結果だけでなく、自分の技術を磨く。その姿勢は変わりません。

予想を超えた評価

今年の受賞について尋ねると、川崎さんは、「自分が思っていた以上に高く評価された」と控えめに喜びを語りました。しかし、その言

一番難しいのは天気の見極め

今年の全国茶品評会で1等5席に輝いた相藤裕次さん。父の令治さんとともに、良質な茶作りに取り組んでいます。

品評会に出品する茶は、収穫時期の見極めも重要です。天候と新芽の生育状況を見ながら、最も良い状態で摘み取らなければなりません。収穫の約2週間前から、父と5、6種類の天気予報アプリを確認。毎日茶園へ足を運び、芽の伸びや気温を確かめ、摘採日を決めます。「下の方では暖かくても、山の茶園に行くと涼しい。そうすると

葉とは裏腹に、茶作りへの探究心は尽きません。

茶園の日当たりや畝の向き、土壌、肥料のバランス、製造方法。時には新しい知識を得るためAIも活用するといいます。

長年の経験に頼るだけでなく、新たな知識や技術も取り入れながら、より良い茶を追い求める川崎さん。今回の受賞についても、「自分一人の力ではなく、支えてくれた関係者のおかげ」と感謝を語ります。

次の世代へ
残したいもの

かつて、地域の暮らしはお茶と深く結びついていました。茶摘みの時期には学校に「お茶休み」があり、商店でも茶の出来や価格が話題になったといいます。しかし時代とともに暮らしも茶業も変わり、生産者の高齢化が進む今、茶園や製茶技術の継承が課題です。

「時代がどんなに変わっても、物の本質は変わらない。この気象条件に合った茶作りを、後世に残したい」。52年にわたる挑戦。その先に見つめているのは、川根茶の未来です。

芽の伸び方も変わってくるんです」と、自然を相手にする茶作りの難しさを実感しています。

父の姿を見て、
残したいと思った

現在は徳山建設で働きながら茶業に携わる裕次さん。以前は休日を利用して手伝うくらいでしたが、約5年前から本格的に取り組むようになりました。茶の繁忙期には約3か月の休暇を取り、茶園管理から収穫、製造まで父とともに作業しています。茶業を取り巻く環境が厳しくなる中、当初は家業を続けられるのかという不安もありました。それでも、長年茶作りに打ち込んできた父の姿を見て、「これを残したい」と思うようになったといいます。

経験を記録し、
技術を未来へつなぐ

長年の経験から茶葉の状態を見極める令治さんに対し、裕次さんは記録を重視しています。「たとえ規模が小さくなっても、相藤園のお茶を残したい。自分には父ほどの経験がないので、一度やったことは記録しないと」と、製造時

普通煎茶4^{キロ}の部
1等2席・農林水産省農産局長賞

よしかず
松島園 川崎 好和 さん

山々に囲まれた地形、昼夜の寒暖差、川からの湿気、場所ごとに異なる土壌。ここには、良質な茶を育む自然条件があります。



父・令治さんと肩を並べて

の温度や時間、機械の調整などを細かく記録します。その姿に令治さんは「自分よりも裕次のほうがこだわっている」と笑顔を浮かべました。

「おいしいの一言が、
何よりうれしい

相藤園では、栽培から製造、販売までを一貫して手がけて、自宅では呈茶体験も行っています。「お客さんに喜んでもらえるのが一番うれしい。やっていてよかったなと思います」と力強く語る裕次さん。その思いが、裕次さんが茶作りを受け継ぐ原動力となっています。

日本一を、もう一度

昭和55年を最後に産地賞から遠ざかり、平成5年から14年まで優等受賞が途絶えた川根茶。再び日本一を目指そうと、生産者や関係者が一丸となって挑戦し、平成15・16年の連続産地賞。そして、全国お茶まつりの地元開催を実現させます。当時、農協の営農担当者として産地の挑戦を支えた芦沢哲哉さんに、その歩みを伺いました。



▲ 第60回全国お茶まつり川根本町大会の幕開け

日本一を、取り戻すために

かつて全国茶品評会で数々の栄誉に輝いていた川根茶。しかし、平成初期から大量生産型の茶が主流となり、品評会で評価される茶の傾向も変わりました。平成6年から機械摘み30^キの部が新設。手摘み茶を得意としてきた川根地域は、優等を獲得できない時期が続きました。「昔はとれていたのに、なぜ今は優等がとれないのか」。当時、上野虎徹町長からの問いかけが、農協で営農を担当していた芦沢哲哉さんの心に残りました。

その後、杉山嘉英町長が就任した際、茶業振興のために何ができるかと尋ねられた芦沢さんは、「日本一をとろう」と提案しました。すると杉山町長は、「それならば全国お茶まつりを誘致しよう。こんなに小さな町での開催はないのだから」と決意。全国大会の誘致を目指し、行政・農協・生産者が一丸となった挑戦が始まりました。

産地全体で磨いた品質

全国大会を地元を迎えるためにも、まずは川根茶が全国で高く評価される産地になることを目標

朝6時から、翌朝3時まで

「朝6時に畑へ集合して、茶摘みをして、そこから製造。終わるのが翌朝3時になることもあった」。かつての品評会に向けた茶作りを、横道さんはそう振り返ります。川根茶が全国の頂点を目指し、産地を挙げた挑戦を始めた頃、農協職員も早朝から茶園に集まり、被覆資材の取り外しや茶摘みを手伝いました。多くの生産者や関係者が力を合わせ、より良い茶を作ろうと取り組んでいた時代。横道さんも、その現場で経験を積み重ねてきました。芦沢さんたちが切り開いた道を受け継ぎ、長年にわたり川根茶の品質向上に取り組んできた横道さん。就職と同時に、営農担当として歩んだ22年間は、川根茶の変化とともにありました。

全国を知り、川根茶を磨く

「昔と今では、品評会で評価されるお茶も全然違う」と、横道さんは長年の変化を語ります。全国の産地が上席入賞茶を研究し、栽培や製造の技術を磨く中で、茶葉の形

や大きさ、摘み方など、評価される品質も変化してきました。

横道さんが大切にしてきたのは、全国の茶を自分の目で確かめることです。「川根茶として出すからには、やっぱり傾向と対策をきちつとやりたい」。毎年の入札会では、どのような茶が高く評価されたのかを確認。翌年の開催地や出品傾向も踏まえ、生産者とともに対策を考えてきました。

一つ一つの工程が、品質を決める

品評会用の茶作りでは、製造の各工程に高い技術が求められます。かつては複数の工場に担当者を配置して製造していましたが、現在は町農林業センターで、工程ごとに担当者が連携しながら茶を揉み上げています。

「最後の工程に入るまでに、お茶の良し悪しは8割、9割決まっている」。横道さんが重視するのは、製造時間だけで判断せず、機械の中で茶葉がどのように動き、水分がどのように抜けているかを見極めることです。長年の経験で培った技術を生かしながら、より良い茶を追い求めています。

に、農協は生産支援と品質向上のための技術指導を担いました。

芦沢さんが重視したのは、優れた茶を一つ作るだけでなく、高い品質の茶を数多く出品することです。たとえ良い茶でも、一点だけでは他と異なるものとして評価されにくい場合があります。全国の上位に食い込むには、産地全体で品質をそろえ、出品数を増やすことが重要だと考えました。そこで、行政の担当職員とともに共同製茶組合にも協力を呼びかけ、生産者とともに栽培管理や製造技術の向上に取り組みました。

その努力が実を結び、平成15年には丹野園の丹野浩之^{こうし}さんが農林水産大臣賞を受賞し、町は産地賞にも輝きました。翌16年も産地賞



当時の手帳を振り返る芦沢さん

「大変だけど、俺、好きだもん」

生産者の高齢化や後継者不足が進み、品評会に携わる人も少なくなりました。それでも、全国への挑戦を支え続ける横道さんは、「大変だけど、俺、好きだもん」と、笑顔で話します。

全国の茶を研究し、生産者とともに試行錯誤を重ねる。その積み重ねが、今年の2年連続産地賞という成果にもつながりました。

横道さんが生産者とともに磨いてきた技術は、川根茶の品質を支える大切な財産です。

を獲得し、2年連続受賞を果たしました。

全国の舞台を川根へ

続く大きな目標である、全国お茶まつりの誘致も実現します。平成17年の合併により川根本町が誕生し、翌18年には第60回全国お茶まつり川根本町大会が開催されました。全国の茶業関係者を迎えるこの大会は、町を挙げた催しとなりました。

この大会でも川根本町は農林水産大臣賞と産地賞を受賞。全国で評価される茶を作り、その舞台を地元を迎えるという目標を実現しました。

「目標があったから苦労はあっても面白かった」

芦沢さんは当時を振り返り、「目標があったから面白かった」と語ります。2人の町長の言葉をきっかけに掲げた日本一への挑戦。それは、産地を盛り上げ、茶業のみならず町全体への活気へつなげたいという、行政・農協・生産者が一体となった思いがありました。

そこで培われた技術と経験は、現在も受け継がれています。

22年を、川根茶とともに

横道さんが農協に就職したのは、平成15年。川根茶が、23年ぶりに産地賞に返り咲いた年です。当時はまさか営農に配属になり、22年間も務めるとは思わなかったと笑顔で語ります。

大井川農協川根営農経済センター

まさし 横道 将 さん
営農経済係長

いつもの川根茶に、新しい発見を。 「第16回 川根時間」開催します

町内7つの会場で、品評会入賞茶をはじめ自慢のお茶を、生産者自ら振る舞います。
作り手と飲み手がつながる特別な機会をお楽しみください。

11月23日(月・祝) 午前10時～午後4時

会 場	出 展 者
① かねじかんカフェ in 音戯の郷入口	鈴木茶苑・仁木のお茶・高畑園・木村農園 川根たっちゃん農園
② 山香荘茶園 古民家・店舗	山香荘茶園
③ 相藤園 古民家「炬藤里」・ティーテラス	相藤園
④ フォーレなかかわね茶茗館	松島園・丹野園・川根たっちゃん農園 川根茶手揉保存会・川根茶業青年団 ほか
⑤ つちや農園 ティーテラス	つちや農園
⑥ SATOMI製茶 茶房 ～兆～	SATOMI製茶・木村農園
⑦ 佐澤薬師堂	さかもと農園

【問】産業振興課農業室 ☎0547(56)2226



◀ 詳細はこちら

知ること、味わうことから

この一杯を、つなぐべく

産地賞。その背景には、川根茶産地の恵まれた自然環境と、長い年月をかけて積み重ねられてきた努力がありました。日本一を目指して挑戦した先人たち。自らの技術を磨き続けてきた生産者たち。それを支え、技術を受け継いできた人たち。そして今、川根茶の魅力を更新する形で、次の世代へつなぐとすると人々がいいます。

茶業を取り巻く環境が変わる中で、これまでと同じ方法だけでは守れないものもあります。だからこそ、川根茶ならではの品質を大切にしながら、その価値を知り、伝え、味わってもらうことが、これからはますます重要になります。

川根茶の未来をつくるのは、茶づくりに携わる人だけではありません。ふるさとのお茶を知ること。誰かに淹れてあげること。おいしいと感じた一杯を、また飲みたいと思うこと。そんな身近なところから、川根茶は未来へつながっていきます。

特集「この一杯を、未来へ」

終わり

川根茶の未来を、地域で育む

品質を磨き、味わいを伝え、次の世代へ。
全国の舞台で評価される川根茶。その品質や文化を守るため、地域ではさまざまな取り組みが続けられています。



出品茶の香気を審査する審査員たち

川根茶品評会・60点を審査

9月17日、川根茶業協同組合による川根茶品評会が開催され、昨年を上回る計60点の仕上げ茶が出品されました。出品されたのは、蒸し方などを限定しない「香級」31点と、高級煎茶を対象とした「特選級」29点。いずれも川根茶100%で、製法による味わいや香りの違いが感じられました。

審査では品質や製造技術に加え、商品としての価値も重視。品評会委員長の小藪久幸さんは、長年茶と向き合っているにもかかわらず、消費者に楽しく味わってもらおうお茶を見極めることの難しさを語りました。

ふるさとの味を子どもたちへ

9月30日、共同製茶連絡協議会は、三ツ星学園と光の森学園に川根茶を贈呈しました。平成25年から続く取り組みで、子どもたちに地元のお茶に親しんでもらうことが目的です。贈られたのは、茶の品質や製造技術の向上を目指す互評会に出品された一番茶を仕上げたもの。仁木富也会長は、茶業を取り巻く環境が変化中、子どもたちがお茶に親しむことが川根茶の未来を守ることにつながるの思いを伝えました。お茶は個包装され、家庭でも楽しめるよう淹れ方が紹介されています。



左から、仁木会長・石川校長・山下校長

お茶を淹れる楽しさを学ぶ

9月30日、川根茶業青年団が、三ツ星学園3年生12人を対象にお茶の淹れ方教室を開きました。児童たちは高級煎茶や紅茶、ほうじ茶など9種類の茶葉を選び、それぞれに合った淹れ方や味わいの違いを学びました。お湯を注いだ後は、みんなで声を合わせて時間を数え、出来上がりを待ちました。

「次、何飲みたい？ 淹れてあげる」と友達に声をかける姿も見られ、お茶を味わうだけでなく、誰かに淹れてふるまう楽しさも体験しました。



しっかり冷まして丁寧に・・・

町の未来をつくるアイデアが集結 かねみんなのやってみよう大賞

町をもっと楽しく、魅力ある場所にするためのアイデアを募集。
発表会では、6人が熱意あふれる提案を披露しました。



「やってみよう！」発表者を囲み声をあげる参加者たち



受賞の喜びを語る芝田さん

8月に募集した「やってみよう大賞」アイデア発表会が、9月27日、伝統文化伝承館「時愛」で開催され、応募数18件の中から選ばれた6人が提案を発表しました。

審査では、実現への熱意や取り組みの広がりなどを重点に評価。大賞には、常葉大学2年生の芝田ありささんが提案する「人生ゲームin川根本町」が選ばれました。

芝田さんは「最初は周囲に進められて応募したが、みんなの力を借りて企画を練るうちに、本当に実現したいという思いが強くなった」と受賞の喜びを語りました。今後は、商品化に向けて具体的な取り組みを進めていきます。

町への思いをカタチに

世代を超えて響く太鼓の音色 第18回赤石太鼓コンサート

町文化会館で第18回赤石太鼓コンサートが開催され、約200人の来場者が迫力ある太鼓の演奏を楽しみました。



力強い太鼓と打ち手のかけ声が会場に響き渡る



ばちを高く掲げ、心を一つに

会場に響く力強い太鼓の音

9月13日に開催された、赤石太鼓保存会による恒例のコンサートには、義務教育学校1年生から70代まで、幅広い世代の打ち手が出演しました。「小長谷城陣屋太鼓」や「無双乱れ打ち」など全12曲を披露。息の合った演奏と力強いばちさばきで、会場を訪れた約200人の観客を魅了しました。

来場者からは「感動した」「音が身体中に響いて気持ち良かった」などの声が聞かれ、会場は大盛り上がり。世代を超えて受け継がれる太鼓の響きが、観客の心に深く刻まれるひとときとなりました。

1 赤口

休診 いやしの里診療所

当番医 鈴木内科医院

川根本町徳山826-1

0547-58-3100

夜休館 B&G

8 先勝

休診 いやしの里診療所

当番医 高木医院

島田市川根町身成3133-1

0547-53-3535

夜休館 B&G

15 仏滅

休診 いやしの里診療所

当番医 金谷眼科

島田市金谷扇町3639

0547-45-0010

休館 文化会館・B&G

22 大安

休診 いやしの里診療所

当番医 平井医院

島田市金谷本町1945

0547-46-2236

夜休館 B&G

29 赤口

休診 いやしの里診療所

当番医 上長尾田澤内科医院

川根本町上長尾915-5

0547-56-1800

夜休館 B&G

2 先勝

いやしの里診療所

●採血・処置 10:00～12:00

●遠隔外来(再診) 14:00～16:00

休館 文化会館・B&G

9 仏滅

いやしの里診療所

●採血・処置 10:00～12:00

●循環器遠隔外来(要予約) 14:00～16:00

休館 文化会館・B&G

16 大安

いやしの里診療所

●採血・処置 10:00～12:00

●循環器遠隔外来(要予約) 14:00～16:00

休館 文化会館・B&G

23 赤口

休診 いやしの里診療所

当番医 加納医院

島田市牛尾471-2

0547-45-3038

夜休館 B&G

30 先勝

●健康づくり相談 9:30～10:30 千頭東会館

●榛原医師会健(検)診(要予約) 13:00～14:00 山村開発センター

いやしの里診療所

●採血・処置 10:00～12:00

●循環器遠隔外来(要予約) 14:00～16:00

休館 文化会館・B&G

3 友引

休診 いやしの里診療所

当番医 すぎもと耳鼻咽喉科クリニック

島田市金谷東1丁目931番地

0547-47-3387

夜休館 B&G

10 大安

休診 いやしの里診療所

休館 奥大井音戯の郷

休館 資料館やまびこ

17 赤口

●すくすく相談(ことばの相談) 【要予約】 山村開発センター(和室)

休診 いやしの里診療所

休館 奥大井音戯の郷

休館 資料館やまびこ

24 先勝

●榛原医師会健(検)診(要予約) 13:00～14:00 山村開発センター

休診 いやしの里診療所

休館 フォーレなかかわね茶茗館

休館 奥大井音戯の郷

休館 資料館やまびこ

休館 文化会館・B&G

1 友引

●健康づくり相談 9:30～10:30 千頭東会館

●榛原医師会健(検)診(要予約) 13:00～14:00 山村開発センター

いやしの里診療所

●採血・処置 10:00～12:00

●循環器遠隔外来(要予約) 14:00～16:00

休館 文化会館・B&G

4 先負

●定例乳幼児相談 9:30～11:30 山村開発センター

●健康づくり相談 13:30～14:30 山村開発センター(和室)

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 9:00～11:00

●小児科遠隔外来 14:00～17:00

休館 フォーレなかかわね茶茗館

休館 奥大井音戯の郷

休館 資料館やまびこ

休館 文化会館・B&G

11 赤口

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 9:00～11:00

●小児科遠隔外来 14:00～17:00

休館 フォーレなかかわね茶茗館

18 先勝

ふれあいママ教室 【要予約】 文化会館

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 9:00～11:00

●小児科外来 14:00～17:00

休館 フォーレなかかわね茶茗館

休館 奥大井音戯の郷

25 友引

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 9:00～11:00

●小児科遠隔外来 14:00～17:00

休館 フォーレなかかわね茶茗館

休館 資料館やまびこ

2 先負

5 仏滅

●すくすく相談(ことばの相談) 【要予約】 山村開発センター(和室)

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 10:00～12:00

●一般外来 14:00～17:00

休館 フォーレなかかわね茶茗館

12 先勝

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 10:00～12:00

●一般外来 14:00～17:00

●糖尿病・内分泌遠隔外来(要予約) 14:00～17:00

19 友引

●あそびの教室 10:00～11:30 遠足

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 10:00～12:00

●一般外来 14:00～17:00

26 先負

いやしの里診療所

●遠隔外来(再診) 10:00～12:00

●一般外来 14:00～17:00

●糖尿病・内分泌遠隔外来(要予約) 14:00～17:00

3 仏滅

6 大安

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～11:30/15:30～17:00

13 友引

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～11:30/15:30～17:00

●脊椎遠隔外来(要予約) 14:00～17:00

20 先負

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～11:30/15:30～17:00

27 仏滅

●2歳児・2歳6カ月児歯科検診 12:50～13:15 山村開発センター

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～11:30/15:30～17:00

4 大安

7 赤口

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～12:00

夜休館 B&G

14 先負

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～12:00

夜休館 B&G

21 仏滅

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～12:00

夜休館 B&G

28 大安

いやしの里診療所

●一般外来 9:00～12:00

夜休館 B&G

5 赤口

11 2026

くらしの カレンダー

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。

市外局番は (0547)

役場本庁 代表番号 ☎56-1111

1F 税務住民課	
税務室	☎56-2223
戸籍住民室	☎56-2222
くらし環境課	☎56-2236
健康福祉課	☎56-2224
高齢者福祉課	
長寿介護室	☎56-2234
地域包括ケア推進室	☎56-2225
建設課	☎56-2227
会計課	☎56-2228
2F 総務課	☎56-2220
危機管理課	☎56-2237
経営戦略課	☎56-2221
デジタル推進課	☎56-2232
産業振興課	☎56-2226
3F 議会事務局	☎56-2229

総合支所 代表番号 ☎ 59-3111

ほか 支所窓口 ☎ 58-7070

1F 観光交流課	☎58-7077
教育総務課	☎58-2555
社会教育課	☎58-7080

文化会館	☎59-3106
本川根B&G海洋センター	☎59-3332
山村開発センター	☎56-2231

今月の納期

各種使用料・保険料などは
11月30日(月)までに
納めてください。
納税は口座振替が便利です。

※さまざまな理由により納税が難しい方は、特例による猶予制度がありますので、ご相談ください。

税務住民課 ☎0547(56)2223

あなたの税金が町をつくります。

各種相談

▶「行政相談」・
社会福祉協議会「よろず相談」
11月18日(火) 9:00～11:30
山村開発センター
▶無料法律相談【要予約】
11月25日(火) 10:00～15:00
福祉センター
☎0547(59)2315

▶休日当番医の情報
(一社)榛原医師会HP
http://www.haibara-med.or.jp/
▶いやしの里診療所
☎0547(59)2102
▶子育て支援施設(日・月・祝日休館)
ひだまり(藤川) ☎0547(57)2231
こもれば(地名) ☎0547(56)2700

▶精神保健福祉総合相談
(心の健康やうつ、アルコール問題など)【要予約】
11月13日(金)、17日(火) 13:30～
中部健康福祉センター(藤枝市)
☎054(644)9281
11月5日(木)、9日(月)、19日(木)
13:00～16:00
精神保健福祉センター(静岡市)
☎054(286)9245
※日程は変更することもありますのでお問い合わせください。



特定感染症(エイズ等) 11月19日(水) 8:45～ 9:45 予約が必要です。電話で「血液検査の予約を取りたい」等とお伝えください。
検査のご案内【要予約】 中部健康福祉センター地域医療課 ☎054(644)9273

志太榛原地域救急医療センター(内科・小児科)
診療時間
月曜～金曜日 午後7時30分～10時
土・日曜日 午後7時30分～翌日午前7時
※ただし11月8日(日)、14日(土)、22日(日)、28日(土)の
午後10時から翌日午前7時は小児科のみの診療です。
☎054(644)0099



榛原歯科医師会からの

ひと言アドバイス

歯と歯のあいだのそうじをしよう!

歯ブラシだけで汚れを落とすことが難しい歯と歯のあいだのよごれには、
デンタルフロス(糸ようじ)、歯間ブラシを積極的に使いましょう。デンタル
フロスで隙間が開くことはないので心配いりません。

知って得する 健康情報

血圧は安静にして朝晩同じ条件で測ると、変化をより正しく把握しやすくなります。
上腕血圧計がおすすです。

健康福祉課 ☎0547(56)2224

ここにも、一つの物語。
広報かわねほんちょう

カナダで学ぶ10日間の海外研修

町教育委員会は、国際的な視野を持ち、町の未来を支える人材の育成を目的に、7月27日から8月5日までの10日間、カナダ・サレー市で英語研修を実施。町内の義務教育学校8年生15人が参加し、現地の人々と交流しました。



現地の学生と習字やじゃんけんなどで交流を楽しむ



三ツ星学園8年生
鈴木 奈央

カナダで感じた文化の違い

私が今回のカナダ研修で特に学んだことは二つあります。
一つ目は、文化の違いです。私が滞在したホームステイ先の食事は、朝や昼は基本的にサンドイッチで、夜はカナダに多様な国の人が住んでいるためか、様々な国の料理が出てきました。カナダの食事はボリュームがあつてすぐにお腹がいっぱいになり、時には残してしまふこともありましたが、どれも本当に美味しかったです。また、建物の違いにも驚きました。カナダは土地が広いいため、日本とは

違って大きな家ばかりでした。その一方で、壁が薄いために隣の部屋の音がよく聞こえてきたり、公共のトイレが日本のトイレほど綺麗ではなかったり、個室の仕切りが上下に大きく開いていて、少し落ち着かない気持ちになったりもしました。このような生活文化の違いを肌で感じたことで、普段は当たり前だと思っていた「日本の良さ」を再発見することができ、日本のことがより好きになりました。

コミュニケーションに挑戦

二つ目は、言語についてです。私は最初、会話の中でわからない単語があると、そのことがかりを考えて何度も聞き直してしまいました。また、英語はスペル（綴り）通りに発音しないことも多く、日本語との違いに難しさを感じて聞き

英語学習への新たな視点

今回の研修は、人と話す楽しさや、反応することの大切さを教えてくれました。また、間違えることを怖がらないことも大切だと学びました。カナダ研修に行くまでは、英語を間違えたくないと思っていました。しかし、完璧な英語でなくても、伝えようとする気持ちがあれば、相手も理解しようとしてくれることが分かりました。この経験を、これからの英語の学習や、普段の生活に生かしていきたいです。そして、相手に自分の気持ちを伝えるということを意識したいです。カナダ研修で学んだことを忘れず、これからも色々なことに積極的に挑戦していきたいです。
(作文は原文のまま掲載しています。)



光の森学園8年生
小林 風優

コミュニケーションの大切さ

私は、今回のカナダ研修で多くのことを学びました。特にコミュニケーションにおいて、大切なことに気づくことができました。

ホームステイを始めてから二、三日は、思ったようにリアクションができず、学校の授業でも積極的になれませんでした。しかし、「そ

る価値観を持つ人と出会ったとき、自分の考えを押し付けるのではなく、相手の価値観を尊重し、理解できるようになりたいです。そして、今回の悔しさをバネに、これからは英語学習にもより一層力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

学びと今後の目標

取れないこともありましたが、さらに、文法を気にしすぎるあまり、ホストファミリーに自分から積極的に話しかけることができませんでした。しかし、ホストファミリーが優しく接してくれたおかげで、簡単な英語やジェスチャーを交えながら、少しずつ会話ができるようになりました。日が経つにつれて聞き直す回数も減っていき、休日には、会話の中で自分から少し質問をすることもできました。

◀ピース・アーチ（アメリカとの国境）



参加者全員のレポートは
ホームページから▼



令和7年度の主な事業（抜粋）

- ▶ 斎場建設事業・・・4億2,274万円
- ▶ し尿等中継施設整備事業・・・3億140万円
- ▶ 南部地域防災倉庫改修工事・・・1,529万円
- ▶ 特定地域づくり推進事業・・・585万円
- ▶ 社会体育施設等予約システム導入・・・236万円
- ▶ 寸又峡プロムナードコース魅力化事業・・・1,868万円



※詳細は二次元バーコードからご確認ください。

お知らせします

町の決算報告

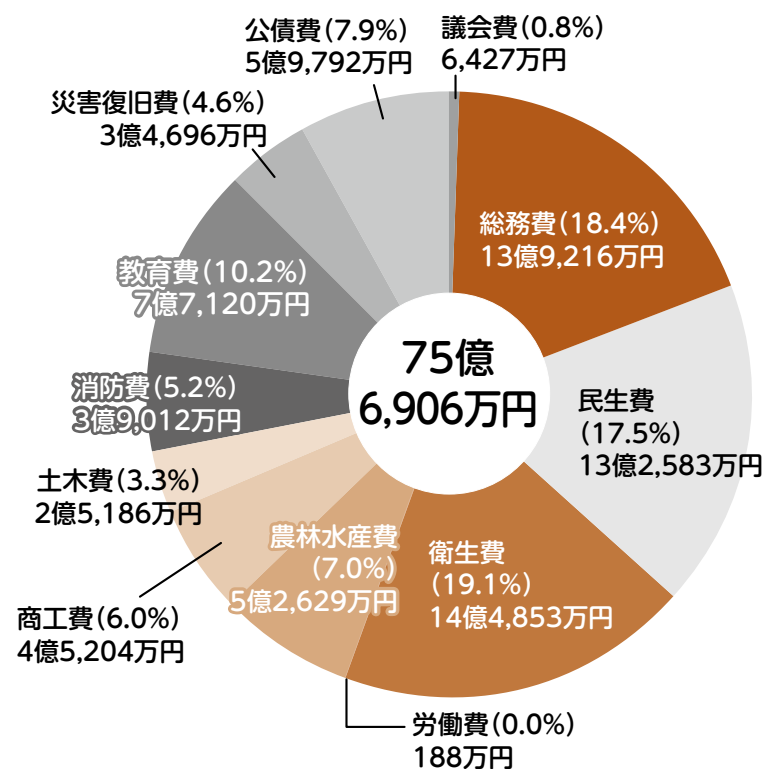
令和7年度決算が9月定例会で承認されました。一般会計と5つの特別会計の決算額は、歳入総額103億4,026万円、歳出総額98億592万円となり、企業会計である簡易水道事業会計は、歳入総額2億2,576万円、歳出総額3億1,327万円となりました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている町政。昨年度決算報告から、町の財政状況をお知らせします。

一般会計 歳出

歳出総額は75億6,906万円【△256万円】です。
増減の大きかった科目と主な要因は次のとおりです。

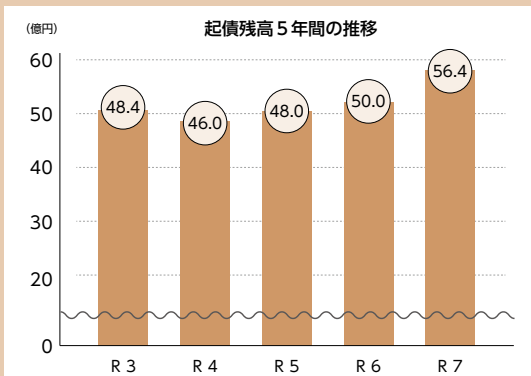
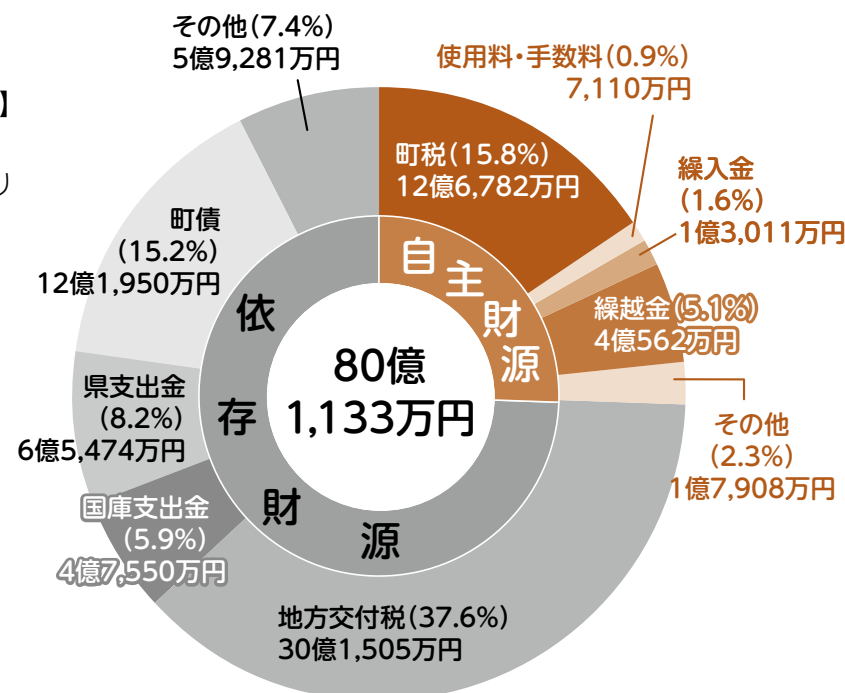
- ▶ **総務費** +4,000万円
職員給与改定に伴う人件費増加
- ▶ **衛生費** +3億8,500万円
斎場建設事業、し尿等中継施設整備事業（いずれもR6からの繰越）の実施に伴う増加
- ▶ **災害復旧費** △5億9,300万円
災害復旧事業の完了に伴う減少



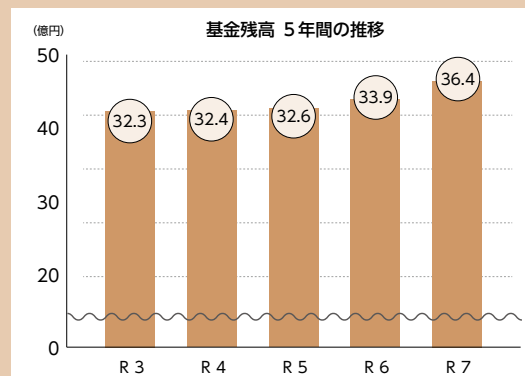
一般会計 歳入

歳入総額は、80億1,133万円【+3,409万円】と、過去10年間で最高額となりました。
増減の大きかった科目と主な要因は次のとおりです。

- ▶ **地方交付税** +1億6,600万円
町の財政需要額の増加、国の税收増等による交付額の増加
- ▶ **国庫支出金・県支出金** △3億9,600万円
災害復旧事業の完了に伴う交付額の減少
- ▶ **町債** +4億9,100万円
斎場建設事業、し尿等中継施設整備事業の実施に伴う地方債の借入れ増加



Q 町が借りてるお金は？
A 町民1人当たりの借金は約103万です
町の借金は、令和7年度末で約56億円です。これを町民1人当たりになると、約103万3千円となりますが、返済額の一部は国からの地方交付税で措置されるため、町が実質的に負担する額は約13億円となり、町民1人当たり約23万9千円となります。（令和8年3月31日現在の人口で算出）



Q 町の貯めてるお金は？
A 町民1人当たりの貯金は約67万3千円です
町の貯金は、「基金」と呼ばれています。基金には、年度間の財源調整や災害時の緊急的な対応などに使うために積み立てている「財政調整基金」と、特定の事業に使用する目的で積み立てている「特定目的基金」があります。
財政調整基金の令和7年度末残高は、9億5,148万円。町民1人当たり17万5千円です。

自分らしく生きるためのデイサービス



リハビリ特化型デイサービス **みずかわ**

お気軽にお問い合わせください。☎：0547-56-0808 ㊤：川根本町水川295

看護師・介護士

アルバイトスタッフ

募集中!!

詳しくはお電話で、
お気軽にご連絡ください^^

◆11月お買得情報◆

地下足袋在庫処分!!

スパイク足袋・防水足袋・先丸足袋などなど！
コハゼも3枚～12枚各種&マジックテープもありす！
約200足ほどある、店内在庫品に限ります！

30%
OFF

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談下さい。
地域のお店だからこそ、丁寧に・迅速に対応致します。

前田機材

川根本町上長尾 795-1
Tel・Fax 0547-56-0006

公営企業会計

公営企業は、利用者からの料金収入などを財源とし、公共の福祉の増進を目的として経営する事業です。町では、簡易水道事業を公営企業会計で運営しています。

事業の運営にかかる費用を「収益的支出」、それに充てる料金収入などを「収益的収入」と言います。また、施設や設備の整備にかかる費用を「資本的支出」、その財源となる企業債などを「資本的収入」といいます。

▼令和7年度公営企業会計の決算額

会計名	区分	収 入	支 出
簡 易 水 道 事 業	収益的	1億4,821万円	2億 41万円
	資本的	7,755万円	1億1,285万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんしました。

特別会計

国民健康保険事業や介護保険事業などの5つの事業では、一般会計と経理を区分し、事業ごとの収支を明確にするため、それぞれ特別会計を設けています。

各特別会計は、保険税や保険料、国・県からの支出金などを財源として運営されています。

▼令和7年度特別会計の決算額

会計名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業	7億3,629万円	7億 678万円
後期高齢者医療事業	1億5,122万円	1億5,056万円
介護保険事業	13億6,967万円	13億 788万円
訪問看護事業	2,392万円	2,392万円
いやしの里診療所	4,780万円	4,769万円

数字で見る町の財政状況

町の状況	財政健全化比率				資金不足比率 (簡易水道)
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率	
	—	—	3.0%	3.3%	—

※実質赤字または資金不足がない場合（負の数値）は、「—」で表示されます。

国が定める基準	財政健全化比率				資金不足比率 (簡易水道)
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率	
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%	
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%		
経営健全化比率					20.0%

■ 財政健全化比率／財政状況が健全かを表す4つの指標

- ① **実質赤字比率**／一般会計などの赤字を示す指標
- ② **連結実質赤字比率**／すべての会計を合わせた会計の赤字を示す指標
- ③ **実質公債費率**／収入に対する借入金の返済負担の割合
- ④ **将来負担率**／収入に対する将来の借入金返済などの負担割合

■ 資金不足比率／公営企業の事業規模に対し、不足する資金がどのくらいあるかを示す割合

▶ **財政健全化比率において**、すべての会計に赤字の比率はなく、国が定める基準を大きく下回っており、財政状況は健全であるといえます。

▶ **資金不足比率において**、資金不足は生じていませんが、決算額は収入が支出を下回っており、将来にわたる安定経営に向けて、財源確保が課題となっています。

【問】 総務課財務管理室 ☎0547(56)2220

くらし環境課生活環境室 ☎0547(56)2236

総合食料品店

魚 勇

お弁当、オードブル、寿司、刺身、BBQ用精肉等 ご注文承ります。

プリベイドカード会員様
募集中!

- 特典① いつでもチャージ 1,000円単位から50K!
- 特典② いつでもチャージ 金額の3%分をサービス!
- 特典③ 誕生日の10%割引!

皆さまのご近所に「移動手段がなく当店にご来店できない」など…お買い物にお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ一緒にお連れいただければ助かります。その際、引率の方へお刺身割引券を進呈させていただきます。



◆魚勇プリベイドカード

これからも地元に伝わる民話を語り継いでいきたいと思います。

1. 開催日時 令和8年11月15日（第三日曜日） 1回目 11:00～／2回目 13:30～
2. 開催場所 フォーレなかかわね茶茗館
3. 語 り 手 勝川邦子・奥野恵美子・森井勝代
(語り手は都合により変更する場合があります)

中川根語り部の会「話楽座」(事務局／蘭田はる ☎0547(56)0374)



令和8年度分 福祉介護手当を増額します

町では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、福祉介護手当を増額します。

令和8年11月支給分（8月～11月分、11月27日振込み）と令和9年3月支給分（12月～3月分）について、1か月あたりの支給額を75,000円から1万円に引き上げます。

これにより、11月支給分・3月支給分はいずれも4万円となり、2回分の合計は8万円となります。

なお、この増額は、令和8年度限りです。

福祉介護手当の増額について	
8～11月分	12～3月分
従来の金額 7,500円	従来の金額 7,500円
拡充分 2,500円	拡充分 2,500円
合計 10,000円	合計 10,000円
振込日 11月27日に振込	振込日 3月30日に振込予定

【問】 税務住民課税務室
☎0547(56)2223



【問】 高齢者福祉課長寿介護室
☎0547(56)2234

くらしの無料合同相談会
静岡県専門事業者団体連絡協議会
不動産・登記・税金・年金・労務・
行政手続・相続・経営相談など、各
専門家が連携した無料相談会を開催
します。



お知らせ
お子さんの教育資金を
「国の教育ローン」(日本政策
金融公庫がサポート！)
「国の教育ローン」は、高校、短大、
大学、専修学校、各種学校や外国の
高校、大学等に入学・在学するお子
さんをお持ちのご家庭を対象とした
公的な融資制度です。
【融資額】
お子さん1人につき350万円以内
【金利】年4.05%
※母子家庭の方などは年3.65%
(令和8年7月1日現在)
【返済期間】20年以内
【HP】「国の教育ローン」で検索
問 教育ローンコールセンター
☎0570-008656
(ナビダイヤル)
または03(5321)8656

日時 11月28日(土)
◆午前10時30分～午後4時
事前予約 11月20日(金)まで
会場 静岡商工会議所4階
401会議室
申込・問 静岡県行政書士会
☎054(254)3003
✉shizuoka@sz-gyosai.jp
秋の全国火災予防運動が
実施されます！
秋の全国火災予防運動
11月9日(月)～11月15日(日)

火災の原因は日常のいたるところ
に潜んでいます。冬にかけて空気が
乾燥し、火災の発生しやすい時季と
なっています。火の取り扱いには十
分注意しましょう！

住宅防火のポイント
・ストーブの周りに燃えやすいも
のを置かない。
・こんろを使うときは火のそばを
離れない。
・家の周りに燃えやすいものを置
かない。

令和8年度全国統一防火標語
「火の確認 いい日を支える
いい習慣」
問 静岡市島田消防署予防係
☎0547(37)0119

山林で作業やハイキングをされる方へ

令和8年度の静岡県内における狩猟期間は次のとおりです。

- イノシシ及びニホンジカ 11月1日(日)～3月15日(月)
- その他の狩猟鳥獣 11月15日(日)～2月15日(月)

この期間中、「わな」・「猟銃」を使用した狩猟が行われますので、作業、ハイキング、
山菜取り等で山林に入られる方は、次のことにご注意ください。

☆狩猟者が視認しやすいよう、**目立つ色の服装**を心がけてください(白色[※]や迷彩色は避けて
ください)。

※白色(首のタオルを含む)はシカのお尻と同色のため、狩猟者に誤認され大変危険です
☆ラジオや鈴など**音が鳴るものを携帯**したり、声を出して歩くなど、自分の存在を周囲に
知らせよう心がけてください。

☆**けもの道には「わな」が設置**されている場合がありますので、通常の山道から奥にはで
きただけ入らないようにしてください。

「わな」の設置場所付近には、設置者の氏名等が記載された標識が付いています。**標識
がある場合は近づかない**でください。

問 産業振興課林業室 ☎0547(56)2226

みんなで取り組む
防災・減災 vol.46

12月6日は地域防災訓練です

災害時に町民の皆さんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

近年、いつ起こるかわからない自然災害への備えとして、日頃からの意識と地域での結
びつきが何よりも重要になっています。

12月6日は、県下一斉に地域防災訓練が実施されます。町内の各地区でも訓練を行い
ますので、家族や近所の方と一緒に参加し、災害時の行動を改めて確認しましょう。
これを機に、「自助」「共助」の力を高め、地域の防災意識を向上させましょう。

【地域防災訓練について】

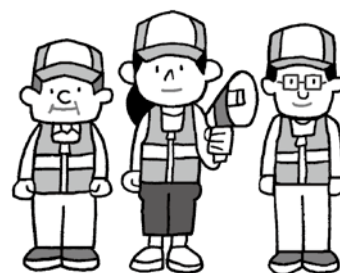
突発地震の発生を想定して実施します。

午前9時にサイレンが鳴ります。

去年は、町全体で2,620名が参加しました。

いざというとき、迷わず動くためには、訓練が大切です。

※訓練の詳細は、お住まいの地区の自主防災会からのお知らせをご覧ください。



旅行中・帰省中も災害対策を忘れずに！

年末年始に向けて、旅行や帰省など、町を離れて遠出する
計画を立てられている方も多いのではないのでしょうか。

災害は時と場所を選びません。近年、観光地や外出先で大
規模な自然災害に遭遇するリスクが注目されています。

旅先や帰省先では、避難ルートが分からず、津波や土砂災
害などの地域特有のリスクに対処できない「情報格差」が生じます。さらに、積雪地
帯や寒冷地で被災した場合、厳しい寒さそのものが命を脅かす要因となります。

下記に示した事前の備えの一例を、ぜひ参考にしてください。

✓ スマホのモバイルバッテリー・少量の小銭・常備薬を、持ち歩き用カバンに入れ
ておく。

✓ 家族内で安否確認の方法を決めておく(災害用伝言ダイヤル171など)。

✓ 宿泊先(帰省先)に着いたら、避難経路を確認する。

また、帰省者を受け入れる側も、事前に自宅の災害対策(家具の固定や備蓄品の点
検など)を実施しましょう！



今回は「火災に気をつけましょう」を掲載予定

【問】危機管理課 ☎0547(56)2237

一般社団法人 パブリックサービス 求人

地域の暮らしに貢献、長島ダムで働きませんか

仕事内容:軽微なパソコン入力など、ダム周辺の点検 ●未経験者歓迎



私たちと一緒に
働きませんか?

お問い合わせ TEL 052-228-8162 (担当:長谷川) saiyo@giaps.or.jp

内装&外装 塗装工事一式

なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

中村 剛子(なかむら たかね)

TEL・FAX 0547-57-2840

町リフォーム補助金などのご相談、お見積りは無料です。お気軽にお問い合わせください。

おくやみ申し上げます

地 区	氏 名	享年	届出人
徳 山	高松 磯枝	88	亀田 麻真
久 保 尾	竹井 正己	72	戸澤 春実
崎 平	藁畑 ゆき	105	藁畑 靖夫
久 保 尾	小澤 勻	97	小澤 和彦
地 名	宮下 やよ	96	宮下与四則
千 頭 東	上田 幸雄	94	上田 里己
坂 京	三浦 泰江	100	三浦 久典

■死亡された方については、本町に住所がある方で掲載を希望された分を掲載しています。

税務住民課 ☎0547(56)2222

川根本町の人口 令和8年10月1日現在

世帯数	2,563 世帯 (-6)	出生	1 人
総人口	5,329 人 (-12)	死亡	9 人
男 性	2,592 人 (-6)	転入	4 人
女 性	2,737 人 (-6)	転出	8 人

※()内は前月比、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

編集後記

急須のない家で育った私が、就職を機にこの町で知った、お茶の楽しみ方。当時、お茶の淹れ方を教わりながら「普段はゆっくり淹れられないな」とこぼした私に、「でも、一日のうち15分もあれば味わえるんだけどね」とつぶやいた茶農家さん。その言葉を、今も時折思い出します。

今回の取材で改めて感じたのは、川根茶を育む自然環境の豊かさと、その恵みを最大限に生かそうとする生産者の努力。土壌や天候を研究し、茶葉のわずかな変化を見極める姿に、まるで科学者のようだと感じました。

「一番おいしい状態で飲んでもらう。それがおもてなし」。川崎さんの言葉を聞き、自然の恵みと生産者の探究心が詰まった一杯を、丁寧に淹れて味わいたくなりました。効率や速さが求められる現代だからこそ、そんな「15分で味わえる贅沢」に目を向けてみるのも、いいものかもしれません。(山村のどか)



第7号

今回は三ツ星学園と光の森学園で始まった特色ある探究学習をテーマに、シームレスな共育について考えました。今回は光の森学園の「フレンドシップウィーク」を紹介し、共育の意味を皆さんと考えたいと思います。

「フレンドシップウィーク」は、ユネスコ世界遺産の白川村にある義務教育学校・白川郷学園の「結(ゆい)クラス」の活動に触発されて始まりました。「結」とは地域の助け合いの精神で、それを本校に合った形にアレンジした取組です。年齢や考え方の違う子どもたちが交流し、多様な視点を認め合う経験を積むことを目的としています。

8・9年生の数学の授業では、子どもたちが自主的に役割を決めて協働する姿が見られ、教頭の西澤先生も高く評価してくださいました。子どもたちは新しい考え方に触れたり、一緒に給食を食べたりした経験を楽しく振り返っています。先生方も子どもたちの学びの深まりを実感し、授業力向上につながるなど多くの気づきを得ました。こうした縦割りの連携による成果は計り知れません。



教育長だよりの全文はホームページからご覧ください。

川根本町教育委員会 教育長 石原一則

ご意見ご感想をお聞かせください。

E-mail : k-ishihara@town.kawanehon.lg.jp



今年も「川根本町ゆず」の季節が到来！

まちの特産を贈る・ゆずギフト承ります！
(ご予算・用途に合わせ詰め合せから発送までお任せください)

(株)KAWANE SENSE 080-1562-1520 (ハマタニ) まで

放課後子ども教室「地域ふれあいスクール」が始まりました

9月から始まったこの活動は地域の皆さまが講師やサポーターとなって児童と交流することを目的に実施しています。第1回の活動では、三ツ星Aスクール(三ツ星学園対象)は読み聞かせ、三ツ星Bスクール(三ツ星学園対象)はボードゲーム、やまびこスクール(光の森学園対象)はB&G海洋センターのプールで水泳教室を行い、参加した児童は元気いっぱいに活動しました。11月には卓球、レクリエーションを行い、12月にはカレンダー作りや、毎年恒例の餅つきなど計10回にわたり様々な活動を予定しています。活動中の児童の見守りサポーターは随時募集しているので、興味のある方は社会教育課までご連絡ください。



11月は「静岡県子供・若者育成支援推進強化月間」です

「地域のこどもは、地域の大人が育てる」
こども・若者たちのために、今、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

静岡県市町対抗駅伝競走大会に向けて頑張っています！

12月5日(土)に、第27回静岡県市町対抗駅伝競走大会が開催されます。

今年は小学2年生から40歳以上まで31名の選手候補者の皆さんが、7月から練習に取り組んでいます。練習を通じて互いに切磋琢磨し、日々成長中です。当日は代表12名がたすきをつないで42.195kmを一生懸命走りますので、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

今年から沿道、草薙総合運動場での観戦ができますので、ぜひお越しください。



開催期日：12月5日(土)
午前10時スタート
チームナンバー：36
ユニフォーム色：青色

11月の展示

*開館日はホームページでご確認ください

町民ギャラリー・『産業文化祭 芸術作品展』(10/24～11/6)
・『川根本町つなぐアートコンテスト 作品展』(11/11～11/29)

文化会館・『川根本町文化会館 開館40周年記念展示』(11/1～11/10)
・『税に関する優秀作品展』(11/11～11/30)
・『人権ポスター 作品展』(11/11～11/30)

皆さま
お誘いあわせのうえ
ご覧ください！

*作品の入れ替え作業により、展示期間が前後する場合があります。

むつみ学級&すこやか大学 (会場の状況等により、開催日や学習内容の変更をすることがあります。ご了承ください。)

★むつみ学級(概ね60歳以上のみなさま)

ココロづくり講座『星に願いを☆～星降る町のいい話～』 11月5日(木) 【三ツ星学園：コモンスペース】

★すこやか大学(概ね70歳以上のみなさま)

体験ツアー『MYステッキで出かけよう♪ 秋の接叡峡温泉郷 満喫ウォーク』

*11月11日(水) 【予備日：11/13(金)】 *11月27日(金) 【予備日：11/30(月)】

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・☎0547-56-1177

茶 小売り全国発送致します
ティーバッグ加工・荒茶仕上げ
火入れ・袋詰め承ります。

株式会社

新坂本園

川根本町上岸110
☎ 0547-59-2155



ペットボトルロケット大会の様子



星空を見ながらガイドを聞く参加者



星・星空を生かした活動

たかだ ひろき
高田 大暉さん

星空の聖地川根本町で
本気で遊ぶ

川根本町には、現在7人の地域おこし協力隊が着任しています。各隊員がどのような取り組みをしているかお伝えいたします！

この夏、ペルセウス座流星群の時期に「第2回星空鬼合宿」を長島公園で開催しました。テーマは、「流星群を見ながら宇宙ごはんを食べよう」。地球のごはんを宇宙で作ったらどうなる? を考えた宇宙ごはんを味わい、星空解説を聞きながら夜空を見上げました。流れ星が現れるたびに歓声が上がリ、中には寝袋に入り朝方まで星を眺める猛者も! 最終的には60名を超える皆さんに参加いただき、まさに鬼合宿な一夜となりました。

そして9月には、接叡湖で「第2回ペットボトルロケット大会2026」を開催。当日は40人弱が集まり、宇宙関係を学ぶ学生たちとロケットを製作し、

飛距離を競いました。接
岨湖へ向かって思い切り打
ち上げる爽快感は格別！
湖面に着水したロケット
は、協力者の町民の皆さん
がカーヌー等で回収しまし
た。大人も子どもも夢中
になった大会は、次回開催
も決定！続報をお楽しみに。
さらに現在、町民の皆
さんと、木片を投げ合う
誰でも楽しめる競技
「クツプ」を楽しむ「星空
の町クツ部（仮）」を立ち
上げ、まったり楽しく練習
中。本年度中の大会誘致
も計画しています。

星空をきっかけに、人が
集まり、新しい遊びや交流
が生まれる町にしていきた
いです。「何それ？」「やっ
てみたい」と思った方、星
空の聖地・川根本町で、一
緒に本気で遊びましょ
う！次回星空鬼合宿冬の
陣も予定しています。

地域おこし協力隊って？

都市部から地方に移住し、任期は最長３年間で、担当するミッションや地域協力活動を行いながら、定住・定着を図る取り組みのことです。

隊員の活動形態

国の特別交付税を原資に町が委嘱および業務委託し、個人事業主としておのこの決められた地域課題を解決するために活動しています。



創業昭和38年 三代続く外壁塗装・屋根工事の専門店



川根本町地名 1297-1

☎ 090-5879-1694

代表 中村哲也

 <https://tosouya-nakapen.com>



人 營
職 直

塗装屋ナカペン